

平成 27 年 3 月 9 日

各 位

会社名 株式会社ウェッジホールディングス  
代表者名 代表取締役社長兼 CEO 此下 竜矢  
(コード 2388 東証 J A S D A Q 市場)  
問合せ先 開示担当 横山 幸弘  
(TEL 03 - 6225 - 2207)

## 当社子会社の Group Lease PCL. 成長資金調達について ～「転換社債引受契約締結」を決議いたしました～

当社子会社の Group Lease PCL. (以下、「GL」という。)は、同社が平成27年5月に発行予定の転換社債について、J トラスト株式会社の子会社 J TRUST ASIA PTE. LTD. (以下「J トラストアジア」という。)との間で、転換社債引受契約 (以下「本契約」という。)を締結することを決議いたしましたのでご報告いたします。

### 1. 目的

当社の重要なファイナンス子会社である GL は、タイ王国でのオートバイファイナンスをここ数年間は、ASEAN REGIONAL FINANCE COMPANY vision (以下、「ARFCビジョン」という。)を掲げ、ASEAN 全域での事業展開を開始しております。タイ王国の隣国であるカンボジア王国への進出を果たし、農機具ファイナンス、中古オートバイファイナンス等ファイナンスの事業領域の拡張をするなど、同業他社の M&A を積極的に活用しながら、急速に事業を成長させております。これらの現状は、タイ国内を中心にアナリストレポートなどでも非常に好感を得ております。(ARFC ビジョンにつきましては次の URL をご参照ください。

[http://www.wedge-hd.com/cms\\_v2/assets/files/IR/NEWS/2012/i20120329.pdf](http://www.wedge-hd.com/cms_v2/assets/files/IR/NEWS/2012/i20120329.pdf)

[http://www.wedge-hd.com/cms\\_v2/assets/files/IR/NEWS/2012/i201203292.pdf](http://www.wedge-hd.com/cms_v2/assets/files/IR/NEWS/2012/i201203292.pdf)

GL は、カンボジアならびに全 ASEAN での急速な事業拡張の過程にあります。本契約の締結により、得ました資金は以下のような利点を GL 社事業にもたらし、また当社の利益を拡大する効果があると考えております。

#### ① 「金融費用の低下」

本契約による直接的な効果は、金融費用の低下です。

GL 社は新たな調達方法により、長期固定かつ低金利の大型資金の調達を行うこととなります。現状よりも低金利の資金調達により、GL 社の金融費用が大きく低下します。現状タイ王国における調達金利に比べ 1% の低下が見込まれ、単純計算で年間 30 万米ドルの利益貢献をいたします。このことにより、GL 社ならびに当社の純利益を増加させます。

#### ② 「為替コストの低下」

本契約は米ドルによる資金調達となっております。

現在まで GL 社は基本的にタイバーツによる資金調達を行ってまいりました。一方、GL 社はカンボジア子会社を通じて急速に事業拡大を続けており、今後さらに加速する予想です。カンボジアにおけるファイナンスは米ドルによって行われており、タイバーツと米ドルの為替コストや為替変動リスクが常に発生してまいりました。本契約による米ドル獲得により、コスト削減が純利益拡大に貢献することが見込まれ、且つ為替リスクが低減いたします。

#### ③ 「事業拡大資金の確保」

本契約による調達資金は、当社グループカンボジア事業拡大のための資源として活用してまいりま

す。

現在GL社はカンボジアでのファイナンスを中心に急速に事業が拡大しております。カンボジアにおいては貸出金利が高く、1%を遙かに下回る極めて低い遅延債権率を実現しており、当該事業の拡大はGL社利益の増大に大きな貢献をいたします。カンボジアにおけるGL社から顧客への営業貸付金は米ドルで行われており、今回の資金調達により、さらに積極的に低コストで営業貸付金の増大を実行してまいります。

#### ④ 「M&A 資金の確保」

上記 3 点の直接的な効果を超え、本契約による最大の効果はGL社が財務的余裕を増大させ、速く且つ柔軟なM&A戦略等を実行する基礎となることにあります。

GL社は 2012 年より ARFC ビジョンを発表し、ASEAN 全域にてファイナンス事業を展開する方針を発表しております。また昨年にはタイにおける競合 THANABAN 社を買収しておりますが、このような買収による非連続的な成長戦略を、特にベトナムならびにインドネシアなどで行う意思を保有しております。買収交渉は時に急速に交渉が進むことがあり、今回の資金取得によつて的確に素早い意思決定を行うことが可能となります。柔軟な意思決定が可能になることでより優位に企業買収等を進めてまいります。

#### ⑤ 「Jトラストグループとの戦略的パートナーシップを活かしての全 ASEAN 展開加速」

Jトラストグループは昨年インドネシアの商業銀行 PT Bank Mutiara Tbk.を買収しておりますが、このような事業展開はGL社の事業方針との親和性が高く、情報やノウハウといった点でGL社とは補完関係にあると考えております。GL社では、同社グループを戦略的パートナーと位置付け、協業を通じて全アジアにおいて互いの成長を加速させまいります。

当社といたしましては、本契約は当社連結純利益を増大させるものと考えております。従いまして当該GL社の決定には全面的に賛成しており、当社自身のGL社へのさらなる人的、資金的関与を強めることも含め、引き続きファイナンス事業の拡大を全力サポートして参ります。

## 2. 割当先の概要

### (1) Jトラストアジアの概要

①商号	J TRUST ASIA PTE.LTD
②本店所在地	シンガポール共和国
③代表者の役職・氏名	代表取締役社長 藤澤 信義
④事業内容	投資事業、投資先の経営支援
⑤資本金の額	200 百万シンガポールドル
⑥設立年月日	2013 年 10 月 7 日
⑦大株主及び持株比率	Jトラスト株式会社 100%

### (2) Jトラストの概要

①商号	Jトラスト株式会社
②本店所在地	東京都港区虎ノ門一丁目7番12号
③代表者の役職・氏名	代表取締役社長 藤澤 信義
④事業内容	ホールディングス業務
⑤資本金の額	53,592 百万円 (2014 年 12 月 31 日現在)
⑥設立年月日	1977 年 3 月 18 日
⑦大株主及び持株比率	藤澤 信義 25.30%

## 3. 転換社債の概要

(1) 発行価格	30,000,000 米ドル
(2) 利率	5%
(3) 償還期間	3 年間
(4) 転換価格	1 株あたり 10 タイバーツ

(5) 全額転換後の株式数	97,087,379 株(予定)
(6) 全額転換後の持株比率	8.2%(予定)
(7) 調達資金の使途	ファイナンス事業のASEAN全域への事業展開に使用。

#### 4. 日程

引受契約締結に係る取締役会決議日	平成 27 年 3 月 6 日
転換社債引受契約の締結	平成 27 年 3 月下旬(予定)
GLにおける転換社債発行決議株主総会開催日	平成 27 年 4 月下旬(予定)
転換社債発行日	平成 27 年 5 月(予定)

#### 5. 今後の予定

本件につきましては、平成 27 年4月下旬に開催されるGL社の株主総会において承認決議されることが停止要件となっておりますので、業績等に与える影響は現在未定となります。

当社といたしましては、GL社の当該転換社債発行の決定は、同社のファイナンス事業の成長の一助になると評価しており、当社の企業価値向上に大きく資する決定でもあることから全面的に支持しております。今後もGL社が、ARFCビジョンに沿ってASEAN全域への事業展開を加速していくことを全力で支援して参る所存です。

株主、投資家の皆様におかれましては何卒ご理解とご支援をいただけますようお願い申し上げます。

以 上